

市議会だより



手作りの七夕飾りに願いを込めて (中央公民館 土曜子ども広場友・遊)

令和4年6月定例会は、6月7日から6月30日まで24日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和4年度小平市一般会計補正予算(第1号)など7件の市長提出議案を可決したほか、1件の市長専決処分を承認しました。議員提出議案は、市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会の調査経費の追加に関する決議を可決し、1件を閉会中の継続審査としました。請願は、1件の取下げを承認しました。

また、6月8日から3日間にわたり、25人の議員から59件の一般質問がありました。

6月定例会

令和4年度 一般会計補正予算(第1号) などを可決

—予算総額は、781億9千3百63万4千円に—

今後の市議会の日程(予定)

開会時刻

原則として午前9時

場 所

市役所7階

- 8月10日(水) 市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会
- 8月19日(金) 市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会
- 8月22日(月) 総務委員会
- 8月23日(火) 生活文教委員会
請願・陳情締切り(午前中)(※1)
- 8月24日(水) 厚生委員会
- 8月25日(木) 環境建設委員会(※2)
- 8月26日(金) 幹事長会議(※3)
- 9月1日(木) 議会運営委員会(※3)
- 9月6日(火) 9月定例会本会議(初日)
- 9月7日(水) 9月定例会本会議(一般質問)
- 9月8日(木) 9月定例会本会議(一般質問)

- 9月9日(金) 9月定例会本会議(一般質問)
- 9月12日(月) 市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会
- 9月13日(火) 総務委員会
- 9月14日(水) 生活文教委員会
- 9月15日(木) 厚生委員会
- 9月16日(金) 環境建設委員会
請願・陳情締切り(午前中)(※4)
- 9月20日(火) 広聴広報特別委員会
- 9月21日(水) スマートシティ小平推進調査特別委員会(※2)
- 9月22日(木) まちづくり調査特別委員会
- 9月26日(月) 幹事長会議(※3)
- 9月27日(火) 議会運営委員会(※3)

- 9月30日(金) 9月定例会本会議(最終日)
広聴広報特別委員会(※3)
 - 10月6日(木) 市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会
 - 10月11日(火) 決算特別委員会(一般会計)
 - 10月12日(水) 決算特別委員会(一般会計)
 - 10月13日(木) 決算特別委員会(一般会計)
 - 10月14日(金) 決算特別委員会(特別会計・下水道事業会計)
 - 10月18日(火) 広聴広報特別委員会
- (※1) 9月定例会初日日程の受付期限です。
(※2) 当日は現地視察を予定しています。委員会の再開時間は、議会事務局にお問い合わせください。
(※3) 開始時間については、議会事務局にお問い合わせください。
(※4) 9月定例会最終日日程の受付期限です。

日程、開会時刻等は変更や追加になる場合もありますので、議会事務局までお問い合わせください。

市議会だよりの配布に関するお問い合わせは、小平市シルバー人材センター 042(344)2120 にご連絡ください。

主な議案

令和4年度一般会計補正予算(第1号)

本補正予算は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、市として速やかに着手する必要がある事業を計上するものです。

歳出の主な内容は、生活支援として、子育て世帯生活支援特別給付金及び学校給食食材費高騰臨時対策補助金による支援、住居確保給付金の特例措置及び新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の申請期間の延長、4回目接種のための新型コロナウイルスワクチン接種事業を実施します。

また、経営支援として、介護事業所等、農業者及び事業者に対する燃料費などの負担軽減の支援や、小平商工会スクラッチカードキャンペーンへの支援、感染防止徹底協力金による支援を行います。

補正予算の規模は、歳入歳出それぞれ7億79万3千円増額し、総額を7億81億4千4百79万3千円とします。財源構成は、事業の実施に伴い、国庫支出金及び都支支出金を増額します。

令和4年度一般会計補正予算(第2号)

本補正予算は、当初予算編成後、新たに実施する事業や増額・減額を要する事業に関する経費等を計上するものです。歳出の主な内容は、新型コロナ

ウイルス感染症対策として、自宅療養者等支援事業の補給、小平市医師会PCRセンター運営費への支援及び子育て施設等の感染拡大防止策の支援などを実施します。

また、新たに実施する事業として、認知症高齢者グループホーム等防災改修等への支援、地域における小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動事業の利用支援を行います。

増額する事業として、保育従事職員等処遇改善への支援、学童クラブ指定管理者の選定等を行います。

私立保育園舎建築補助は、実施しないことから減額します。補正予算の規模は、歳入歳出それぞれ1億7千8百2万8千円減額し、総額を7億79億6千6百76万5千円とします。

財源構成は、事業費の増減に伴い、国庫支出金、都支支出金及び市債を補正します。また、当初予算に計上した新型コロナウイルス感染症対策の財源について、都支支出金を増額し、国庫支出金を減額します。

令和4年度一般会計補正予算(第3号)

本補正予算は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、市として速やかに着手する必要がある事業を計上するものです。

歳出の主な内容は、生活支援として、こだいら子育て応援商品券による支援、保育園・幼稚園等への食料費高騰臨時対策による支援を行います。また、経営支援として、私立幼稚園の感染防止対策への支援

介護事業所、障害事業所等への食料費高騰臨時対策による支援を行います。

補正予算の規模は、歳入歳出それぞれ2億2千6百86万9千円増額し、総額を7億81億9千3百63万4千円とします。

財源構成は、事業の実施に伴い、国庫支出金及び都支支出金を増額します。

消防団消防ポンプ自動車の買入れ

消防活動用として、小平市消防団第二分団が使用する、キャブ

小平市税条例等の一部を改正する条例

令和4年度の地方税制の改正に伴い、改正するものです。主な内容として、個人市民税

関係の改正では、①租税特別措置法の改正により、所得税におけるいわゆる住宅ローン控除の適用される入居期限を、令和7年12月31日まで4年延長すること等の措置が講じられたことに伴い、関係規定の整備を行う、②地方税法の改正により、個人市民税の上場株式等に係る配当所得及び譲渡所得の課税方式を、所得税と一致させる措置を講じます。

固定資産税及び都市計画税関係の改正では、地方税法の改正により、①納税義務者等の求めに基づき閲覧に供される固定資産課税台帳に記載されている住所について、住所が明らかにされることにより人の生命等に危害を及ぼすおそれがあると認められる場合等に、住所の削除等ができる措置が講じられたこと

プオーバー型消防ポンプ自動車1台を買い入れるものです。条件付一般競争入札により、入札を行った結果、株式会社ナカムラ消防化学東京営業所が落札し、仮契約を締結しました。契約金額は消費税込みで2千3百98万円です。

小平市立学童クラブ条例の一部を改正する条例

小平市立二小学童クラブの入会児童数の増加に対応するため、現在、小平第二小学校から借用して、学童クラブとして使用し

などに伴い関係規定の整備を行う、②いわゆるわがまち特例について、下水道除害施設の固定資産税に係る課税標準の特例措置適用期限を2年延長するとともに、課税標準の特例割合等の見直しに伴い市の特例割合の見直しを行う、③いわゆる省エネ改修工事が行われた住宅に係る固定資産税の減額措置適用期限を2年延長するとともに、改修工事等に関する事項の見直しに伴い関係規定の整備を行います。

そのほか、地方税法等の一部改正に伴い、引用条項、文言の整理等を行います。施行期日は、特に定めるもののほか、公布の日です。

緊急質問

緊急質問とは、質問が緊急を要するときなどに議会の同意を得ることができる質問です。

令和4年6月定例会初日において、一人会派の会の橋本久雄議員から、1件の緊急質問があ

ている体育館準備室を、第二クラブとすることに伴う改正です。定員は30人です。

改正の内容は、既存の二小学童クラブの名称を小平市立二小学童クラブ第一に改正するとともに、小平市立二小学童クラブ第二を追加します。施行期日は、令和5年4月1日です。

決議

決議とは、市議会の意思を対外的に表明することが必要であるなどの理由で行われる議決のことです。

市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会の調査経費の追加に関する決議

令和4年度における市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会の調査経費を、2百58万円追加し、3百8万円以内とする。以上、決議します。

議会人事

多摩六都科学館組合議会議員 福室 英俊議員
小平市都市計画審議会委員 橋本 久雄議員

一人会派の会 橋本久雄議員

会計年度任用職員への報酬未払いなど、労働基準法に違反した行為について

議案に対する各議員の賛否

6月定例会

会派名略称 () 内は各会派の議員数

政和：政和会(7) 公明：市議会公明党(6) フォ：フォーラム小平(4) 共産：日本共産党小平市議団(3) 一人：一人会派の会(3) 生ネ：生活者ネットワーク(2) 市民：まちづくり市民こだいら(1…無会派)

Table with 7 columns: 政和, 公明, フォ, 共産, 一人, 生ネ, 市民. Lists names of council members under each party.

全会一致で議決した議案

Table with 6 columns: 区分, 番号, 件名, 議決結果, 番号, 件名, 議決結果. Lists council resolutions and their outcomes.

※1 QRコードの注意事項等は、4面「QRコードについて」をご覧ください。

議員の紹介

五十音順に左から右へ記載してあります。

<委員会名の略称>

総務=総務委員会、生文=生活文教委員会、厚生=厚生委員会、環境=環境建設委員会

広聴=広聴広報特別委員会、スマート=スマートシティ小平推進調査特別委員会

まち=まちづくり調査特別委員会、市内認=市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会

議運=議会運営委員会

(◎)=委員長、○=副委員長

 氏名(年齢は発行日現在) 当選回数 会派名 常任委員会・特別委員会等 住所 電話番号	 虹川 浩 (61) ◎ 市議会公明党 総務(◎)・まち・市内認 美園町2-3-15-103 ☎042-348-0483	 石津 はるか (33) ○ 政和会 生文・スマート・市内認 御幸町6-3-307 ☎050-3709-3286	 伊藤 央 (52) ◎ 一人会派の会 生文(◎)・広聴・スマート・市内認 学園西町1-12-22 ☎042-313-2761	 岡田 しんぺい (33) ○ フォーラム小平 環境・広聴・スマート(○) 鈴木町1-290 ☎042-343-3939	 川里 富美 (43) ○ フォーラム小平 生文・まち(○)・市内認 (事)花小金井4-33-7カトリアイツ1F ☎(事)050-3596-7611	 きせ 恵美子 (60) ◎ 日本共産党小平市議団 環境(◎)・議運 鈴木町2-229 ☎042-478-1133
 さとう 悦子 (57) ◎ 生活者ネットワーク 総務・広聴・まち・市内認 (事)学園西町2-15-2 CB-橋学園 ☎(事)042-342-4494	 佐藤 徹 (63) ◎ 市議会公明党 生文・広聴・スマート(◎) 小川町1-800-36 ☎042-332-5883	 鈴木 だいち (39) ○ 日本共産党小平市議団 厚生・広聴(○)・まち・市内認 (事)小川町1-1023-12 ☎070-2166-6260	 鈴木 洋一 (62) ○ 政和会 厚生・議運(○) (事)仲町165 ☎(事)042-343-3098	 津本 裕子 (61) ◎ 市議会公明党 厚生・議運(◎) 花小金井南町1-17-11-110 ☎042-464-1126	 外山 まなみ (47) ○ 政和会 総務・広聴・まち・市内認 小川東町2-13-8-405 ☎042-313-6961	 中江 美和 (42) ◎ フォーラム小平 総務・議運 学園東町2-13-12 ☎042-315-7475
 橋本 孝二 (54) ○ 市議会公明党 総務・広聴・スマート・市内認 上水南町1-5-5 ☎042-326-6526	 橋本 久雄 (71) ◎ 一人会派の会 厚生・まち(◎) 学園西町1-22-15 サトピア並木1F ☎042-348-1127	 比留間 洋一 (65) ○ 政和会 総務(○)・まち 花小金井3-6-14 ☎042-461-3801	 福室 英俊 (32) ○ 政和会 環境・広聴(○)・市内認(○)・議運 (事)上水新町2-5-26 ☎(事)070-2163-2966	 細谷 正 (43) ◎ 日本共産党小平市議団 総務・スマート・市内認 小川西町5-37-6 ☎042-345-0818	 松岡 あつし (37) ◎ 政和会 議長 学園西町1-16-10-204 ☎042-343-7520	 水口 かずえ (60) ○ まちづくり市民こだいら 生文・スマート・市内認 (事)学園東町2-4-11ハウス井上101 ☎(事)042-313-5108
 安竹 洋平 (44) ○ 一人会派の会 環境・議運 大沼町1-2-1リヴェール207 ☎042-313-6780	 山浦 まゆみ (47) ○ 生活者ネットワーク 環境(○)・議運 (事)学園西町2-15-2 CB-橋学園 ☎(事)042-342-4494	 山岸 真知子 (63) ◎ 市議会公明党 副議長・環境・まち・市内認(○) たかの台19-7 ☎042-309-5355	 山田 大輔 (49) ○ 政和会 生文(○)・スマート 学園東町496-54 ☎042-345-8862	 幸田 昌之 (54) ◎ 市議会公明党 厚生(◎)・議運 学園西町1-37-4 ☎042-347-7480	 吉本 ゆうすけ (39) ◎ フォーラム小平 厚生(◎)・まち・市内認 小川西町2-18-5 ☎042-315-9337	

常任委員会

◎=委員長
○=副委員長

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行います。小平市議会では条例により4つの常任委員会を設置しています。各委員会の定数及び所管は次のとおりです。

■総務委員会 (7人)

市の基本計画、広報、財政、財産管理、個人情報保護、情報公開、契約、職員給与、戸籍・住民記録、市税、公金の出納、広聴、市民相談などに関する事項

- ◎虹川 浩 ○比留間洋一
- さとう悦子 外山まなみ
- 中江 美和 橋本 孝二
- 細谷 正

■厚生委員会 (7人 欠員1人)

子育て支援、保育、生活支援、高齢者支援、介護保険、障がい者支援、健康施策、国民健康保険などに関する事項

- ◎吉本ゆうすけ ○幸田 昌之
- 鈴木だいち 鈴木 洋一
- 津本 裕子 橋本 久雄

■生活文教委員会 (7人 欠員1人)

防災、防犯、男女共同参画、地域センター、産業振興、文化施策、スポーツ振興、学校教育、生涯学習、公民館、図書館などに関する事項

- ◎伊藤 央 ○山田 大輔
- 石津はるか 川里 富美
- 佐藤 徹 水口かずえ

■環境建設委員会 (7人 欠員1人)

環境対策、ごみ・リサイクル、公園・用水、下水道、都市計画、公共交通、土地区画整理、道路、交通対策などに関する事項

- ◎きせ恵美子 ○山浦まゆみ
- 岡田しんぺい 福室 英俊
- 安竹 洋平 山岸真知子

特別委員会

◎=委員長
○=副委員長

常任委員会とは別に、特定事件を調査及び審査するための委員会です。各委員会の定数及び所管は次のとおりです。

■広聴広報特別委員会 (8人)

①議会報告会の企画及び聴取した意見等の整理に関する事②議会報の編集及び発行方法に関する事③議会ホームページの充実に関する事④広聴及び広報活動の基本的事項の調査に関する事

- ◎福室 英俊 ○鈴木だいち
- 伊藤 央 岡田しんぺい
- さとう悦子 佐藤 徹
- 外山まなみ 橋本 孝二

■スマートシティ小平推進調査特別委員会 (9人 欠員1人)

①DX推進に関する事②議会のICT化に関する事③GIGAスクール構想に関する事

- ◎佐藤 徹 ○岡田しんぺい
- 石津はるか 伊藤 央
- 橋本 孝二 細谷 正
- 水口かずえ 山田 大輔

■まちづくり調査特別委員会 (9人)

①公共施設マネジメント推進計画の調査に関する事②駅前再開発の基本的事項の調査に関する事③都市計画道路、鉄道の連続立体交差化の基本的事項の調査に関する事④都市計画公園整備の基本的事項の調査に関する事

- ◎橋本 久雄 ○川里 富美
- 虹川 浩 さとう悦子
- 鈴木だいち 外山まなみ
- 比留間洋一 山岸真知子
- 吉本ゆうすけ

■市内認可保育園開園時園庭縮小問題調査特別委員会 (13人)

〔(仮称)まなびの森保育園花小金井〕が公募時の提案に比べ、開園時に大幅に園庭面積を縮小することに関する事項

- ◎福室 英俊 ○山岸真知子
- 虹川 浩 石津はるか
- 伊藤 央 川里 富美
- さとう悦子 鈴木だいち
- 外山まなみ 橋本 孝二
- 細谷 正 水口かずえ
- 吉本ゆうすけ

議会運営委員会

◎=委員長
○=副委員長

議会運営に関する事項についての調査及び議案・請願等の審査を行います。

- ◎津本 裕子 ○鈴木 洋一
- 福室 英俊 安竹 洋平
- きせ恵美子 中江 美和
- 山浦まゆみ 幸田 昌之

市政を問う 一般質問 要旨

一般質問とは
議員が市政全般にわたり、執行機関に対し事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。

QRコードについて

お手持ちのスマートフォンなどからQRコードを読み取ると、各議員の一般質問・緊急質問の録画映像をご覧いただけます。
* 市議会ホームページの「小平市議会 議会中継」のページに遷移します。
* 映像の配信期間は、次の定例会初日の前日までとなります。配信期間終了後は、閲覧できませんのでご注意ください。
(QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。)



市民等の要望に沿った総合経済対策を／南東部地域の課題
橋本孝二議員
(市議会公明党)

市民、市内事業者の要望に沿った総合経済対策の実現のために

質問 ①仕入価格等の高騰による保育所の給食費等の値上げを回避するため、負担軽減策を講ずるべきと考えるが見解は。
②QRコード決済によるポイント還元キャンペーンの実施等で、全世代に対応できる重層的な市内経済の活性化策を講ずるべきと考えるが見解は。
市長 ①学校給食と同様に、物価の上昇率を踏まえた支援策を検討している。

②令和3年度の小平商工会のスクラッチカードキャンペーンが好評だったため、4年度は夏

と冬の2回、実施予定である。未来輝く小平市へ向けたアンケートより、南東部地域の課題



質問 令和4年3月下旬から市議会公明党が行った政策アンケートに対し、特に要望が多かった、つつじ公園や回田藤公園等の防犯上の危険箇所を防犯カメラを設置すべきが見解は。

市長 犯罪の抑止効果はあると認識しているが、公園内の設置は利用者のプライバシー等の観点から慎重な検討が必要である。また、公園内は樹木等が多く十分な見通しが確保できないなどの課題もあるため、他の自治体の事例等を参考に研究していく。

また、公園内は樹木等が多く十分な見通しが確保できないなどの課題もあるため、他の自治体の事例等を参考に研究していく。



一橋学園駅周辺に／公園管理／制服等のリサイクル
幸田昌之議員
(市議会公明党)

一橋学園駅周辺の環境整備を進めよう

質問 地域住民から要望の多いタクシースクール等の環境整備について市の見解と進捗状況は。

市長 都市計画事業として駅前広場を整備する予定はないが課題は認識している。駅周辺の既存公共施設のスペースを活用したタクシースクール等の設置について研究を進めるなどしている。
適正管理で魅力あふれる市立公園にしよう

質問 公園管理に指定管理者制度を導入すべきでは。
市長 通常の維持管理に加え、



頭痛等の原因である脳脊髄液減少症を知ろう／西部地域の課題
佐藤 徹議員
(市議会公明党)

不登校の一因でもある頭痛等の原因の脳脊髄液減少症を知ろう

質問 ①市ホームページから、都の脳脊髄液漏出症のページにアクセスできるように設定することとは有効な周知方法が見解は。
②小・中学校の教職員等を対象に、認定NPO法人脳脊髄液減少症患者・家族支援協会の啓発セミナーを開催してはどうか。
市長 ①市ホームページの健康分野のページ構成等を整理していく中で検討する。

教育長 ②現在、個別の疾病に関するセミナー実施の考えはないが、団体等が主催するセミナーが教育委員会の施策推進に寄

与する場合、後援は可能である。未来輝く小平市へ向けたアンケートより、西部地域の課題



質問 令和4年3月から4月にかけて市議会公明党が行ったアンケートに対し、小川町1丁目412番地から東に上宿図書館までの中島通りで、傷んだ道路の整備を求める声が多くあった。令和5年度中には工事に着手できるように対応すべきが見解は。

市長 市としても補修を要する路線として捉えている。現在、水道事業者が工事を行っている小川公園付近から立川通りまでの区間を除き、近年中の補修工事実施に向け準備を進めていく。

水道事業者が工事を行っている小川公園付近から立川通りまでの区間を除き、近年中の補修工事実施に向け準備を進めていく。



東部地域に市民活動・スポーツの場を／動物との共生を目指し
石津はるか議員
(政和会)

市内東部地域に新たな市民活動・スポーツの場を

質問 ①萩山・東部公園プールの維持管理費と老朽化の状況は。
②PFIや指定管理など民間事業者の観点等を活用し、子どもの居場所になるほか、高齢者の健康増進、学校プールの負担軽減ができる拠点として、例えば、花小金井武道館の機能に加え、屋内プールやボール遊びができる複合施設を造ってほしいという市民の声があるが見解は。

市長 ①令和元年度管理運営業務委託費が合わせて約3千8百万円、光熱費等がそれぞれ約1千万円である。萩山公園プール

千円円である。萩山公園プール



子どもの貧困と給食の無償化／市内の駅にホームドアの設置を
中江美和議員
(フォーラム小平)

コロナ禍の子どもの貧困と学校給食の無償化について

質問 ①市長公約の87の政策で子どもの貧困対策を掲げているが、現在実施等している施策は。
②小・中学校の給食無償化の検討について、市長就任1年経過時点での進捗状況は。
市長 ①本年度から要支援家庭等へ食料配付事業を開始したほか、養育支援ヘルパー派遣事業の対象年齢を12歳まで拡大するとともに利用者負担を廃止し養育困難家庭への支援を拡充した。教育長 ②学校給食法に、給食の食料費は保護者の負担とすると定められていることなど多

くの課題があると捉えており、現在、課題等を整理している。

は水槽床面等に多数のひび割れ、東部公園プールは流れるプールの起流ポンプの故障等がある。
②新たな複合施設を整備する考えはない。

飼い主のいない猫問題の解決と動物との共生を目指して

質問 ①問題解決への目標は。
②マイクロチップ装着・登録義務化への市の対応方針は。
市長 ①第三次環境基本計画で、令和12年度までに不妊・去勢手術費補助、累計千件としている。
②マイクロチップの装着等で、市窓口での蓄犬登録と鑑札交付の手続きが省略できる。引き続き、畜犬登録率の向上等に努める。

畜犬登録率の向上等に努める。



ヤングケアラーへの支援策／児童発達支援センターの対象拡充
津本裕子議員
(市議会公明党)

ヤングケアラーについて、市が実施すべき支援策は

質問 ①国は令和4年度から3年間、ヤングケアラー支援の集中取組期間としたが、市のアウトリーチでの相談と支援体制は。
②豊橋市では分かりやすい広報と体制づくりをしている。子ども・若者地域支援協議会を設置するなどの明確化も重要では。
市長 ①様々な要支援児童・家庭の相談、支援は、子ども家庭支援センター等が行っている。
②ヤングケアラーの支援を目的とした協議会設置までは考えていない。こども政策の新たな推進体制に関する基本方針の趣

趣旨を踏まえ、現場でのケース把握や支援強化を図っていく。
児童発達支援センターは対象年齢を拡充すべき

質問 ①療育対象年齢を就学前とした理由は。
②対象を小学1年生までとし、相談支援体制を強化すべきでは。
市長 ①施設面等で受入れ人数に限界があることや、早期発見早期療育の観点から就学前の児童を対象に事業を実施している。
②療育は就学前の児童が対象だが、新たに設置した相談窓口では小学生以上の児童の相談にも応じ、内容によっては関係機関と連携しながら対応していく。



質問 ①市内駅への設置検討は。
②地元の要望がある一橋学園駅から設置を検討すべきでは。
市長 ①鉄道事業者の整備等計画等で優先的に整備すべき駅に位置づけられていないことなどから市も検討していない。引き続き、情報収集等に努めていく。
②一橋学園駅に限定した検討は難しい。引き続き国等と連携し、多摩北部都市広域行政協議会を通じて圏域内の駅への整備を鉄道事業者に要請していく。

は難しい。引き続き国等と連携し、多摩北部都市広域行政協議会を通じて圏域内の駅への整備を鉄道事業者に要請していく。



就学前児童への療育等を行う児童発達支援センター(たいよう福祉センター内)



防災備蓄庫等の備蓄状況等について／
特殊詐欺撲滅への施策は
鈴木洋一議員
(政和会)

防災備蓄庫及び防災倉庫の備蓄状況等について

質問 ①令和4年度予算における被災者用備蓄品の整備内容は。

②備蓄品の保管について、民間企業との協力体制は。

市長 ①消耗品費2千4百62万9千円を計上しており、主な内訳は食料や使い捨てトイレ、毛布等である。また、備品購入費2百61万6千円を計上しており、内訳は応急給水資機材用の小規模倉庫や簡易ベッドである。

②備蓄品は民間企業等の施設に保管していないが、災害時における物資の供給に関する協定を締結し協力体制を築いている。



玉川上水緑道／鷹の台公園検討委員会設置／地区交流センター
橋本久雄議員
(一人会派の会)

玉川上水緑道をインクルーシブなスペースに整備せよ

質問 ①緑道の利用者にアンケート調査ができないか。

②アンケート結果を参考に都に必要を要望してはどうか。

市長 ①アンケート実施の考えはないが、緑等に関連する計画策定の際に意見等を聞いている。②要望は難しい。

鷹の台公園の整備は市民参加の検討委員会を立ち上げ、進めよ

質問 ①市民参加の検討委員会を立ち上げ、計画を進めては。

②整備案は子どもを含め公募し、プレゼンテーションで決めては。



特殊詐欺撲滅に向けて市の施策を伺う

質問 ①被害防止対策について、市の啓発活動は。

②自動通話録音機の貸与台数とその効果は。

市長 ①小平警察署等と連携し、年金支給日における特殊詐欺被害防止キャンペーンの実施や、犯行予兆電話、いわゆるアポ電が多発している際の広報車による注意喚起等を実施している。

②令和3年度末時点で千台である。小平警察署に聞いたところ、貸与された世帯の被害件数はほとんどないとのことから、効果は高いと捉えている。



子どもと親の育ちを支える小平／
新たな視点でふるさと納税を
山岸真知子議員
(市議会公明党)

子どもと親の育ちを温かく支える小平を目指して

質問 ①市の母子健康手帳に都の子供手帳モデルを活用しては。

②学齢期の子を持つ親に対する支援のための相談体制は。

市長 ①令和4年度、国は母子健康手帳、母子保健情報等に関する検討会を開催し母子健康手帳見直しの検討等を進めている。この動きを踏まえ研究していく。

②子ども家庭支援センターでは就学後から18歳までの子どもと家庭への支援も行っている。また、ティーンズ相談室では親からの相談にも対応するなど、寄り添った支援に努めている。



新たな視点でふるさと納税の活用を

質問 ①企業版ふるさと納税に取組むべきだが検討と見解は。

②返礼品がなくとも寄附を得られる魅力ある提案を募っては。

市長 ①現在、具体的な検討状況はないが、企業の賛同が得られるような地方創生プロジェクトを実施する場合は財源確保策として活用すべきと考えている。

②事業提案の募集は研究課題として捉えながら、返礼品に頼らない市民の共感をえられるふるさと納税を募集する際は、積極的に情報発信し、引き続き寄附者が増えるよう努める。



小学校の教科担任制の取組状況について
虹川浩議員
(市議会公明党)

小学校の教科担任制の取組状況について

質問 ①これまでの授業形態と教科担任制導入への取組状況は。

②教員の確保が重要だが、市の現状として足りない科目と人数、人材確保の取組は。

教育長 ①学級担任と専科教員が連携し授業を行うことを基本に、一部の学校で一部の教科の授業を教科担任が実施している。

②教員は都の教職員定数配当方針に基づき配置されており、特定の教科や教員数が不足している状況はない。今後、さらなる教科担任制の実施に当たっては、教員数の拡充が必要であり、



引き続き国等に働きかけていく。大沼公民館のエアコン故障の経過と今後の修理予定について

質問 ①長期にわたり大沼公民館ホールと音楽室のエアコンが故障しているが、復旧の目途は。

②大沼公民館、大沼図書館のほかの部屋や施設については、今後の故障時の対応は。

教育長 ①早期の利用再開に向け、都への手続やエアコンの調達を進めているが、世界的な半導体不足の長期化等により資材調達や入荷状況等に影響が生じ、時間を要する可能性がある。

②定期的な点検報告を踏まえ、適切な対応策を検討していく。



生活困窮者の命を守るためには／
子どもの貧困対策の推進を
きせ恵美子議員
(日本共産党小平市議団)

コロナ禍における生活困窮者の命を守るためには

質問 ①令和3年3月定例会で、生活保護申請の際の扶養照会はやめるべきと質問したが進捗は。

②生活保護制度周知の取組は。

市長 ①法令等に基づき扶養照会することとされている。国の通知では客観的に扶養が見込めない場合等は不要とされており、個別に事情を聞きながら国の通知等に沿って対応していく。

②市ホームページでの掲載や生活支援課の窓口で生活保護のしおりを配布している。また、こだいら生活相談支援センターと連携し相談等につなげている。



子どもの貧困対策の推進を

質問 ①ひとり親世帯の割合は。

②今後の子どもの貧困対策は。

市長 ①令和2年度の国勢調査結果では、18歳未満世帯員のいる一般世帯のうち、男親と子どもから成る世帯の割合は約0.7%、女親と子どもから成る世帯の割合は約0.3%である。

②引き続き都や他市の状況を注視するが、市としては関係機関との連携により、子ども・若者計画で子どもの貧困対策として掲げた各種施策を、支援を要する子どもと家庭に漏れなくつなげることが肝要と考えている。



子どもの権利を保障するために／
市の個人情報保護について
さとう悦子議員
(生活者ネットワーク)

子どもの権利を保障するために

質問 ①子どもの権利条約を批准している重要性への認識は。

②子どもの権利条約普及推進事業に期待するところは何か。

市長 ③東京都なども基本条例を踏まえた市の施策の充実は。

①批准国は条約の趣旨に沿い必要な措置を取る義務があり、重要性は十分認識している。教育長 ②子どもが心身ともに健康に成長できる環境づくりを考える契機となることである。



市の個人情報保護について

質問 ①個人情報保護法の改正に際し、小平市個人情報保護制度の見直し時期と進捗状況は。

②法でカバーしきれない個人情報保護の保護や開示の注意点は。

市長 ①来年度4月1日までに条例改正が必要で、現在は市条例との内容の違いを確認している。

②改正法の規律に従い新しい運用方法に変更する必要がある。③今後の対応等について情報提供しており、条例改正案について意見を聴く予定である。



市民への身勝手な呼びかけや誤ったワクチン情報発信を改めよ
伊藤 央議員
(一人会派の会)

新型コロナウィルス感染症への対応、対策について

質問 ①マスク非着用者の行事参加等を拒否することがあるか。

②市長はゼロ密を呼びかける一方、自身は飲食を伴う会合に出席、酌や体に触れるなどしている。自分自身にできないこと等の呼びかけは即刻やめるべきでは。

市長 ①施設利用者や市主催行事等への参加拒否はしていない。②状況に応じ適切な呼びかけをし自分も適切に行動している。

新型コロナウィルス感染症対策が生命や健康を脅かしている
質問 ①市長はワクチンに一定



程度の感染予防効果があるとしたが、国が以前未接種に分類したワクチン接種歴未記入者を接種履歴不明に分類した結果、年代によって未接種者より2回接種者の感染割合が高いと判明した。いまだ市は予防効果を主張するのか。市民に周知すべきでは。

②フレイル予防等を二の次にしてきたが中・長期的視点等で健康を考える方向に転換しては。

市長 ①市では感染予防効果の有無の判断は難しい。厚生労働省ホームページの記載から、一定程度の感染予防効果や重症化予防効果があると認識している。

②引き続き中・長期的な視点から市民の健康増進に寄与する。



地域防災ステーションとしての公園整備を



質問 ①公園内または隣接して自主防災組織の防災倉庫が設置されているのは何か所か。

②公園は災害時に自主防災組織の活動拠点となり得るが、市が管理する公園のうち、トイレを設置しているのは何か所か。

③市が管理する公園へのトイレの設置基準は。

市長 ①現時点で公園内に設置したものが23か所ある。

②40か所である。

③明確な基準はないが、利用頻度や設置費、維持管理費用等を総合的に勘案し判断している。



ヤングケアラー施策等の充実化



今こそ市としてヤングケアラーの情報周知と施策の充実化を

質問 ①市内のヤングケアラーの存在をどう認識しているか。

②国や東京都のヤングケアラー支援強化の姿勢を受け、市として積極的な取組を行う検討は。

市長 ①令和3年度実施した小平市の教育に関するアンケート調査で、親や祖父祖母などの身の回りの世話や料理・洗濯などを大人に代わって行っています。

②直近の事例としては、令和4年3月に農家と障害者施設のニーズをマッチングし、5月に畑での作業を実施してもらった。



おむつを通して考える子育て支援



子どもたちの健康を守るための学校給食について

質問 ①食材の価格上昇による市立小・中学校給食への影響は。

②食料費の高騰が続いた場合、どのような対処を考えているか。

教育長 ①肉・魚類や小麦粉、菜種油など、給食調理に欠かせない食料費が幅広く上昇し、学校給食費を圧迫している。

②学校給食食材費高騰臨時対策補助金により、当面は学校給食の質を維持することが可能だが、さらに高騰が続く場合には、平成26年度以降価格を据え置いている学校給食費の値上げも検討せざるを得ないと考えている。



隠蔽体質や管理主義を自覚し子ども本位の教育委員会へ改革を



おむつを通して考える子育て支援

質問 ①おむつに係る負担について、保育園に子どもを預ける保護者と保育園側の負担の声は。

②公立保育園でのおむつの定額サービス導入への検討は。

市長 ①令和2年度から保護者と保育園の負担軽減のため、保育園で使用したおむつの持ち帰りが発生しないよう保育園に処理費用を補助している。

②児童の体質等に合ったおむつを家庭で選択することが望ましいことや保護者の費用負担増の可能性を多くもらい、状況等を踏まえ可能性を検討する。

市営屋外プールの在り方検討について

質問 ①検討スケジュールの見直しは。

②教員の負担軽減等から水泳授業を校外プールで行う検討は。

市長 ①萩山公園・東部公園プールの集約、再整備の手法等の検討を進め、年度末を目途に一定の方向性を取りまとめたい。

②令和4年度は小平第十二小学校のプール改修により民間の屋内プールを活用した水泳授業を実施するため、その状況等を踏まえ可能性を検討する。



西武鉄道立体化/フェムテック先進都市となり選ばれる小平へ



「重大事態」への認識を改め、子ども中心のいじめ対応へ

質問 ①市は、いじめ防止対策推進法にある重大事態への対処が、必ずしも子どものためにならないと捉えているように感じらる。どう捉えているか。

②これまでに市が重大事態として扱ったいじめの累計件数は。

③専門家や有識者から重大事態として扱うように助言が得られる会議の議録を作成していない理由は。

④いじめ事案への対応フローを作り、周知活用しては。

⑤重大事態の最終的な検証結果と提言は、誰の責任において、

どのような方法で教育行政に反映するか。

教育長 ①いじめを受けた児童生徒とその家族にできる限り配慮し、重大事態の原因等の究明及び解決に向けて、取り組むものと捉えている。

②3件である。

③教育委員会が設置する協議会等では、議録等は作成する。

④いじめ防止基本方針があるため、フロー図は今後研究する。

⑤教育委員会の責任において学校への指導、助言に反映させている。

西武鉄道立体化は小平らしさを生かしたものにすべき

質問 ①田無から花小金井駅付近の対象区間を立体化した場合、市が負担する金額は。

②鉄道立体化の事業着手に向け、機運醸成を図ることの参考としている立体化地域があるか。

市長 ①具体的計画が定まっていなかったため、立体化に加え沿線のまちづくりに係る事業費も必要と認識している。

②東村山駅付近連続立体交差事業等を参考に、事業着手に向けた機運醸成を図るとともに、周辺のまちづくりを含め、円滑で着実な事業推進を目指していく。

フェムテック先進都市となり、特徴のある選ばれる小平市へ

質問 ①市立小・中学校教育において、生活用品の使い方の指導はどのように行われているか。

②女性を支える事業を行うフェムテック事業者等の話を聞くなど民間連携を進めるべきでは。

教育長 ①主に養護教諭が、小学校高学年において、発育測定等の機会を捉えて月経時の手当の仕方等を指導している。

市長 ②毎年開催している事業者向けの女性活躍支援セミナーにおいて、先進的な取組を行う事業者から話を聞くことを検討するなど民間連携に努めていく。



私立保育園への移行で保育の質は保たれるか



仲町保育園の私立保育園への移行で保育の質は保たれるか

質問 ①新園の園庭が狭くなることへの懸念にどう対応するか。

②新園の事業者選定の際、園庭をより広く確保することについて意見を聞くべきではないか。

③事業者を選定する組織に、保護者代表は入らないのか。

市長 ①認可基準を満たす面積を確保し子どもの安全等に配慮したか等の視点で業者を選定する。



農業の後継者不足等の対策



農業の後継者不足、担い手不足への対策について

質問 ①農業の後継者不足、担い手不足への対策は。

②現在の農福連携の取組は。

市長 ①前者は、都の都市農業経営力強化事業を活用し施設等の整備支援と農業者の所得向上を図り、後継者が継続しやすい環境整備を進めている。

②直近の事例としては、令和4年3月に農家と障害者施設のニーズをマッチングし、5月に畑での作業を実施してもらった。

正常性バイアスにも対応した災害対策を

質問 ①災害対策における正常性バイアスの問題点は。

②正常性バイアスがかかることも想定した避難情報等の発信が必要だが、市の対応は。

市長 ①危険な状況に直面しているにもかかわらず楽観的な錯覚をし、正常な判断ができなくなることで被害に巻き込まれるリスクが高まることなどがある。

②正常性バイアスの悪影響を可能な限り抑える確かな判断をし、正しい情報も、正確で分かりやすい情報を迅速かつきめ細かに発信することに徹していく。



改修が予定されている小平第十二小学校のプール



よりよい子育て環境をめざして／老後安心の福祉のまち小平を
鈴木だいち議員
(日本共産党小平市議員)

よりよい環境で子育てのできる小平市をめざして

質問 ① 仲町保育園の民間移行において、保護者からは、定員数と園庭の広さは担保してほしいという切実な要求が出されているが見解は。

② 現在、市内に宿泊型やデイサービス型の産後ケア事業ができる医療機関等の施設がないため、今後の医療機関の状況を注視しながら研究していく。

老後を安心して暮らすことのできる福祉のまち小平を

質問 物価高騰等の影響により、介護事業所では厳しい経営状況が続いている。食材費の補助など早急な支援体制が必要と考えるが、見解は。

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

質問 消費税10%の緊急減税と、資格請求書等保存方式導入の中止を国に求めるべきでは。

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

質問 小・中学生の医療費助成の所得制限は撤廃できないか。

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める



小平市南西部と立川市の連携／児童・生徒を守るハード整備を
福室英俊議員
(政和会)

小平市南西部と立川市との連携について

質問 立川市のごみ処理場が今後移転するが、跡地の利用について市が把握していることは。

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

質問 放課後の児童・生徒の学習に資する学習アプリの導入は。

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

質問 学校でのいじめ防止対策推進法に基づく重大事態発生時の調査結果を受け、学識経験者等で構成するいじめ問題調査委員会を市長が設置した事例は。

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

質問 任意予防接種の帯状疱疹予防接種費用の助成について

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める



小川駅西口再開発／消費税緊急減税を／学校給食費無償化を
細金正議員
(日本共産党小平市議員)

再び小川駅西口地区市街地再開発事業と駅周辺諸課題について

質問 ① 大規模災害に対する防災備蓄倉庫の整備や、帰宅困難者対策で想定していることは。

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める



いじめ防止対策の条例制定を／帯状疱疹予防接種費用の助成を
山田大輔議員
(政和会)

子どもを守るためにいじめ防止対策について条例を制定すべき

質問 ① 学校でのいじめ防止対策推進法に基づく重大事態発生時の調査結果を受け、学識経験者等で構成するいじめ問題調査委員会を市長が設置した事例は。

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める



安心して子育てするために／市民の行きたくなる公園づくりを
外山まなみ議員
(政和会)

小平市で安心して子育てするための

質問 ① 小・中学生の医療費助成の所得制限は撤廃できないか。

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

市立小・中学校の給食費無償化に踏み出すことを求める

常任委員会の行政視察

常任委員会では、先進市等の事業を調査するために行政視察を行っています。令和4年5月11日～13日及び18日～20日に実施した視察先、及び視察事項は以下のとおりです。

総務委員会 (5月11日～13日) ●宗像市(福岡県) 財源確保の取組について ●佐賀県 職員の育児休業取得促進施策について ●福岡県 財源確保の取組について	厚生委員会 (5月18日～20日) ●小牧市(愛知県) こまきこども未来館について ●京都市(京都府) こどもみらい館について ●奈良市(奈良県) 奈良市子どもセンターについて
生活文教委員会 (5月11日～13日) ●泉大津市(大阪府) オーガニック給食の取組について ●四日市市(三重県) 自治会加入促進に関する取組について ●半田市(愛知県) 部活動の地域移行に関する取組について	環境建設委員会 (5月18日～20日) ●佐賀市(佐賀県) デマンドタクシーの取組について ●糸島市(福岡県) オンデマンドバスの取組について ●北九州市(福岡県) 公園の管理、開発について

用語の解説

- ※1 タクシープールとは 駅等で、必要なときにすぐ利用できるようタクシーが常駐している場所のこと。
- ※2 脳脊髄液減少症とは 外傷等により脳脊髄液が漏れ出し減少することによって、頭痛や目まい、倦怠感などの様な症状を引き起こすとされる疾患のこと。
- ※3 アウトリーチとは 手を差し伸べるといふ意味を持つ言葉で、福祉の分野等においては、積極的に対象者のいる場所に向いて働きかけを行い、支援の実現を目指すこと。
- ※4 企業版ふるさと納税とは 国が認定した地方自治体の地方創生の取組に対して、企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除される仕組みのこと。
- ※5 フェムテックとは Female(女性)とTechnology(技術)を組み合わせた造語で、
- ※6 正常性バイアスとは 人が予期しない事態に直面したとき、あり得ないという先入観や思い込み(バイアス)が働き、起きていることを正常だと自動的に考える心の働きのこと。
- ※7 資格請求書等保存方式(インボイス制度)とは 登録番号、適用税率、消費税額等が記載された請求書(インボイス)の発行を取引先から受け、保存することにより消費税の仕入額控除を受けることができる制度のこと。
- ※8 帯状疱疹とは 水ぼうそうと同じウイルスを原因とする病気のこと。水ぼうそうが治った後もウイルスは体に潜んでおり、加齢や疲労、ストレスなどにより免疫力が低下したときに再び活動を始めることがあり、帯状疱疹として発症するとされる。

議員の寄附行為は禁止されています

政治家が、選挙区内の人や団体にいさつ状(答礼のための自筆によるものは除く)を出したり、お金や物を贈ることは、時期や理由を問わず法律で禁止されています。受け取った人も罰せられます。

また、有権者が政治家に対し寄附を求めることも禁止されています。

具体例は次のとおりです。

- お中元やお歳暮
- お祭りへの寄附や差し入れ
- 秘書や家族などが代理で出席する場合の結婚祝いや香典
- 町内会の集会や旅行等の催し物への寸志や飲食物の差し入れ
- 病氣見舞い
- 葬式の花輪や供花
- 落成式、開店祝いの花輪やお祝い
- 運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れなど
- 市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

会派の構成

会派は、政策を中心とした理念を共有する議員で構成されています。小平市議会では、議会基本条例第4条で議会活動を行うため、会派を結成することができると定められています。2人以上の議員をもって会派を構成することができます。○=幹事長

政和会(7人)
○比留間洋一 石津はるか 鈴木 洋一
外山まなみ 福室 英俊 松岡あつし
山田 大輔

フォーラム小平(4人)
○吉本ゆうすけ 岡田しんぺい 川里 富美
中江 美和

一人会派の会(3人)
○伊藤 央 橋本 久雄 安竹 洋平

《無会派》

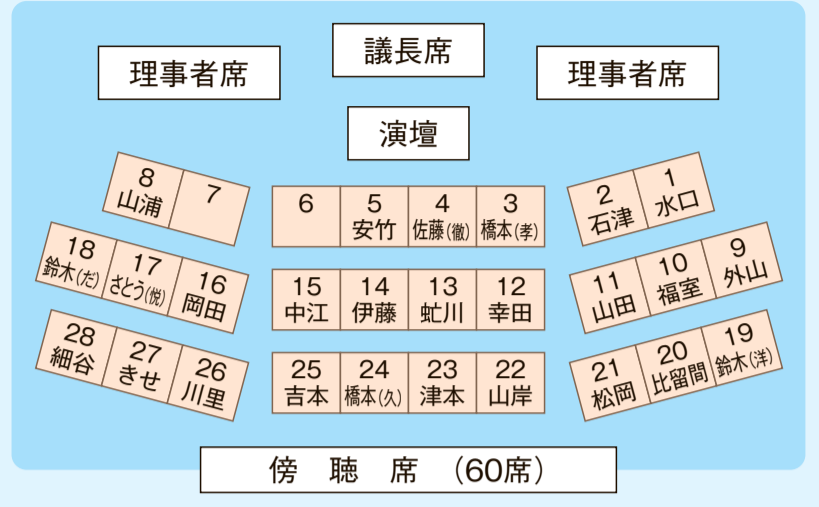
まちづくり市民こだいら(1人)
水口かずえ

市議会公明党(6人)
○虻川 浩 佐藤 徹 津本 裕子
橋本 孝二 山岸真知子 幸田 昌之

日本共産党小平市議団(3人)
○細谷 正 きせ恵美子 鈴木だいぢ

生活者ネットワーク(2人)
○さとう悦子 山浦まゆみ

議場議席図



「市民と議会の意見交換会」を開催しました

市議会では、「安全・安心な住みやすい小平を目指して」をテーマに、令和4年度初めての意見交換会を開催しました。令和4年3月定例会に関する報告を行ったのち、グループに分かれ、設定したテーマ及び市政全般について市民の皆様と意見交換を行いました。

多くのご意見をいただき、ありがとうございました。
開催の概要は以下のとおりです。

- 日時 5月15日(日) 午後2時から午後4時まで
- 会場 学園西町地域センター
- 参加者数 21人



▲当日の様子

意見交換の内容やいただいたご意見、アンケート結果の詳細については、市議会ホームページのほか、市役所7階議会事務局でもご覧いただけます。

今後も市民の皆様との意見交換の機会を定期的に設けていきます。多くの方のご参加をお待ちしております。

詳しくは、市ホームページを
見てください。

市議会の情報をメールマガジンでお知らせします

042(346) 9566
042(346) 9567

042(346) 9566

042(346) 9567

市議会だより



5月、8月、11月、2月の年4回、目の不自由な方に音声による市議会だよりを発行しています。
カセット版かデジ版のどちらかを選択できます。ご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。

QRコードはこちら



QRコードはこちら



042(346) 1333
042(346) 9566
042(346) 9567

6月定例会では様々な議案等について活発な議論が交わされました。今後も、より分かりやすい紙面づくりに広聴広報特別委員一同努めてまいります。お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。

あしがき

- 6月24日 十一小115人
- 6月23日 学園東小58人
- 6月21日 一小87人
- 6月17日 二小84人
- 6月16日 四小49人
- 6月14日 十小114人
- 6月2日 八小103人
- 5月31日 花小金井小99人
- 5月20日 鈴木小54人
- 5月20日 五小133人

市議会ホームページ



議場見学



小平市非核都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかし、核軍備拡大競争及び通常兵器の軍備拡大競争は一段と激化し、世界各地で武力紛争が絶え間なく続き核戦争の脅威が迫っている。

我が国は、世界唯一の核被爆国であることにかんがみ、小平市議会は、すべての国の核兵器に反対し非核三原則を堅持し、人類永遠の平和のため努力することを決意し非核都市を宣言する。

昭和58年3月3日
小平市議会

※この宣言は、昭和58年3月定例会において議員から提案され全会一致で可決されたものです。